

1. Pathway CDをCD-ROMドライブに挿入すると、右のようなSetup画面が表示されますので、「PathwayをCDから起動」を選択します。

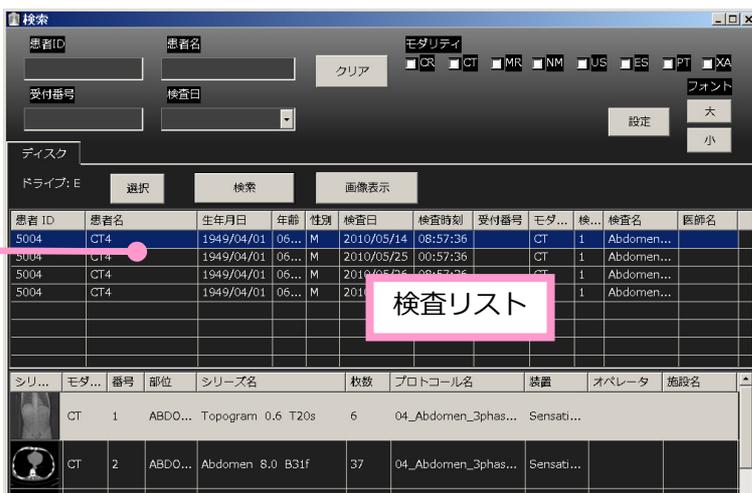
※画面が自動で表示されない場合には、デスクトップにある「コンピュータ」アイコンを開き、CD-ROM内の「STARTUP.EXE」をダブルクリックすると表示されます。

このボタンをマウス左ボタンでクリックします。



2. しばらく待つと検索画面が表示され、検査リストにはこのディスクに保存されている検査データのリストが表示されます。

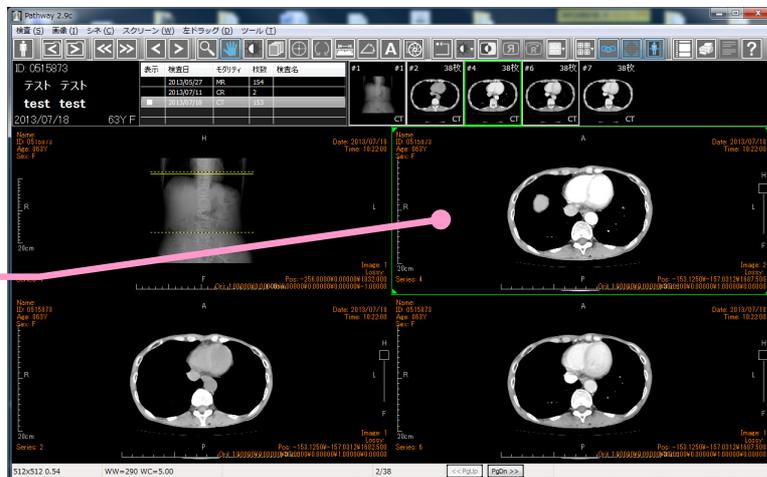
検索リストにある患者さんの名前の上にマウス矢印を持って行き、マウス左ボタンをダブルクリックすると画像が表示されます。この場合、選択した検査の全ての画像が表示されます。



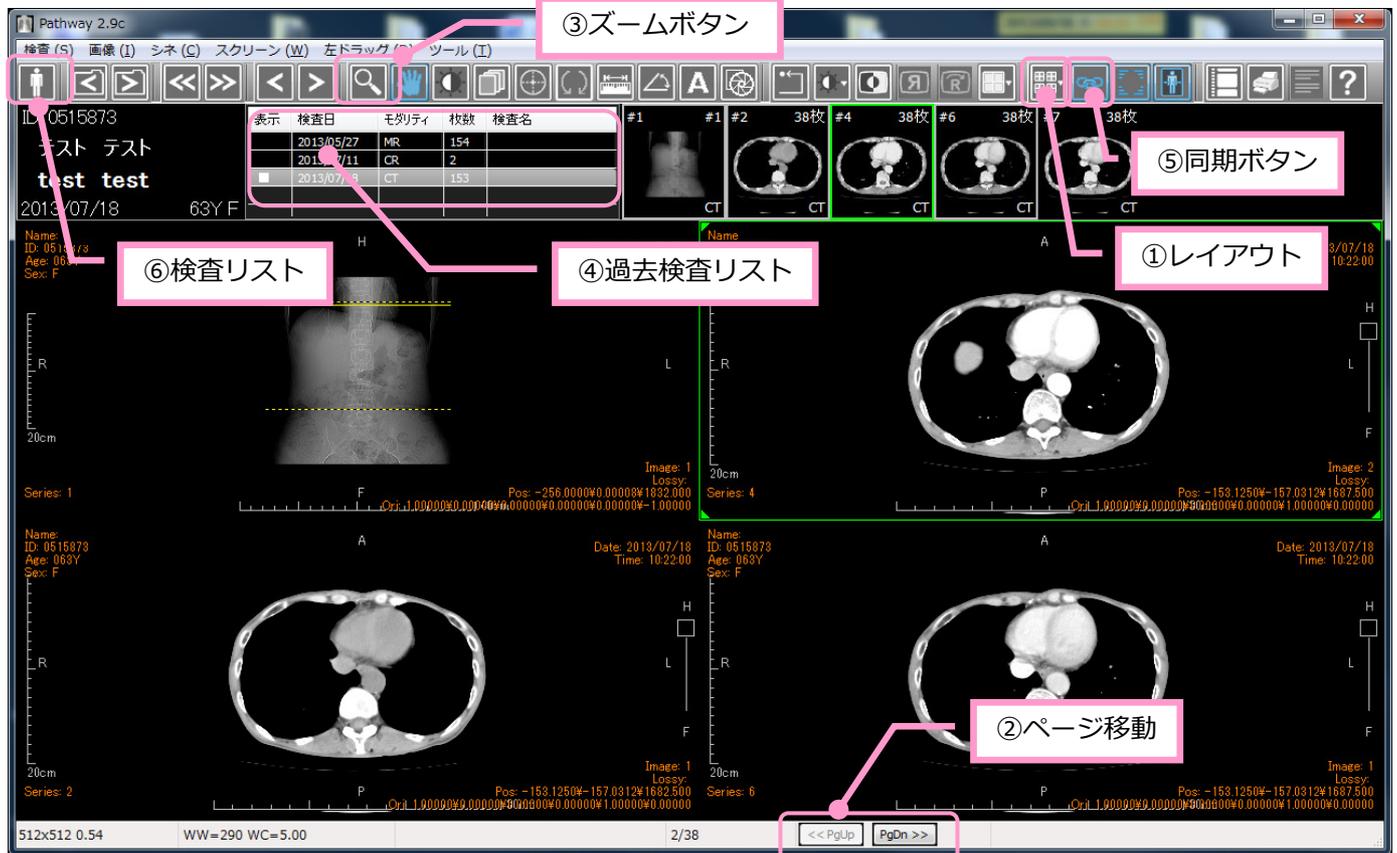
3. 表示された画面ウィンドウでは、画像を見やすくするための機能が多くありますが、代表的な機能を次のページで説明します。

例えば、画像が表示されている状態でマウスのホイールボタンをクルクルと回転させると、画像が次々展開します。※主にCTやMRI等のデータの場合です。

注意：以前はホイールマウスを押すことにより拡大と画像展開の切り替えが可能でしたが、このソフトは拡大は別機能となりす。詳細は裏面をご参照下さい。



4. 代表的なボタン・機能の説明



<代表的なボタンの説明> ※緑色の枠内の画像が現在選択されている画像です。

- ①レイアウト : 見やすい画面レイアウトに変更できます。
- ②ページ移動 : 画像が複数ページになっている場合、【<<PgUp】【PgDn>>】でページを移動させることができます。
- ③ズームボタン : このボタンを押し、拡大/縮小したい画像の上でマウス左ボタンを押したまま、上下にマウスを動かすと画像の拡大/縮小することが出来ます。
※ESCキーを押すと、標準の大きさに戻ります。
- ④過去検査リスト : 検査リストで別の検査リスト上をマウスでダブルクリックすると画像の入れ替えが出来ます。
- ⑤同期ボタン : 1つの画像だけをマウスのホイールボタンを回転させて画像を展開させたい場合は、このボタンをクリックする(白表示にする)ことで同期が外れ、緑色の枠内の画像だけを展開することができます。
- ⑥検査リスト : 最初の検査リストウィンドウを表示します。

<CT値に関する注意事項>

- CT値の計測はマウスポイントを計測したい場所に持って行くと、画面下の枠に表示されます。但し、任意の領域の値は測定できません。マウスポイントの点に対してのみになります。

<その他画像を見やすくする機能>

- 緑の枠で囲まれた画像をダブルクリック、又は[Enter]キーを押すと最大表示になります。
※もとのレイアウトに戻す場合は、同様に画像をダブルクリック、又は[Enter]キーを押します。
- マウスの右クリックを押したままの状態で上下左右にドラッグすると、コントラスト(WW/WL)が変化します。
※ESCキーを押すと、標準のコントラストに戻ります。